

JSS Scholarship



2018 JSS スカラシップドライバー小倉祥太選手の参戦レポート

FIA-F4 選手権 第9/10戦 スポーツランドSUGO

参加台数27台

予選 第9戦 4位 第10戦 5位 天候:曇り 路面:ドライ

9月15日

今にも雨が降り出しそうな曇り空の下、菅生大会の予選がスタートした。木曜日から始まったOTG F4トレーニングの段階から持ち込みセットが上手くハマり、安定してTOP5に入るタイムを記録していたためいつもより自信を持って予選に臨むことが出来た。ゆっくりとタイヤに熱を入れていき、他車に影響されないスペースを見つけたタイミングでアタックに入った。途中、クラッシュによりセッションが赤旗中断となる中、12分を残したところでセッションは再スタート。終盤までタイヤの垂れはなく、最後まで集中して連続的にアタックをし、ガソリンタンクが軽くなってきたセッション終了間際にベストタイムを更新して4番手に入った。セカンドタイムも5番手となり、シーズンベストを更新して表彰台も狙える位置につくことが出来た。

第9戦 予選結果

Position	No	Name	Car	Total Time
1	5	角田 祐毅	HFDP/SRS/コチラレーシング	1'23.463
2	6	名取 鉄平	HFDP/SRS/コチラレーシング	1'24.040
3	63	川合 孝汰	DENSO ルボーセ F4	1'24.106
4	62	小倉 祥太	DENSO ルボーセ JSS F4	1'24.129

第10戦 予選結果

Position	No	Name	Car	Total Time
1	5	角田 祐毅	HFDP/SRS/コチラレーシング	1'23.491
2	6	名取 鉄平	HFDP/SRS/コチラレーシング	1'24.118
3	63	川合 孝汰	DENSO ルボーセ F4	1'24.167
5	62	小倉 祥太	DENSO ルボーセ JSS F4	1'24.276

第9戦 決勝レース 天候:曇り 路面:ウエット 順位:4位

9月15日

予選終了後に雨が降り、ウエットコンディションの中コースインとなった第9戦決勝。しかしグリッド試走を終えた時点で雨はほとんど止み、タイヤをドライにするかレインのままかといった難しい選択を迫られた。最終的にライバルの選択状況と路面の濡れ具合から判断し、レインタイヤを装着してレースに臨んだ。

スタートは少し失敗し出遅れるも順位キープで1コーナーをクリア。SUGOではウエットコンディションでの走行経験がなかったため最初は落ち着いて前3台のラインをトレースしてついていくことに集中した。4位キープのまま中盤に入ると路面は急速に乾き始め、ライン上はドライに変化。同時にレインタイヤもボロボロに

なり始め、それまで3番手の選手に迫るペースで走行していましたが逆に離される展開になってしまう。その後も路面はどんどん乾き、途中ドライタイヤを選択した選手に交わされ5番手に。そしてそのまま順位キープでチェッカーを受けた。しかし、トップの選手がタイム加算ペナルティを受けたため、繰り上がりとなり、自己最高位の4位となった。

Position	No	Name	Car	Total Time
1	6	名取 鉄平	HFDP/SRS/コチラレーシング	23'37.830
2	63	川合 孝汰	DENSO ルボーセ F4	23'38.828
3	5	角田 祐毅	HFDP/SRS/コチラレーシング	23'42.707
4	62	小倉 祥太	DENSO ルボーセ JSS F4	23'45.517

第10戦 決勝レース 天候:晴れ 路面:ドライ 順位:5位

9月16日

前日の第9戦天候は一転し、早朝から晴れ間が広がったスポーツランドSUGO。表彰台獲得を狙うべく、第10戦決勝がスタートした。順調な蹴り出しから順位キープで1コーナーをクリア。2周目の1コーナーでスリップから抜け出し4番手を狙うもブレーキングで並びかけるところまで行くことが出来ずにオーバーテイクならず。それから以降は前車も後車もラップタイムが拮抗してワンミスが命取りになる展開になった。それぞれがミスをする事なく等間隔のままレースが進む。そして、終盤1コーナーで後ろから2度仕掛けられたが、最後まで順位を守り切って5位でチェッカーを受けた。

Position	No	Name	Car	Total Time
1	5	角田 裕毅	HFDP/SRS/コチラレーシング	21'12.757
2	6	名取 鉄平	HFDP/SRS/コチラレーシング	21'20.371
3	63	川合 孝汰	DENSO ルボーセ F4	21'22.841
5	62	小倉 祥太	DENSO ルボーセ JSS F4	21'28.773

